

本邦
初訳!

哲学者ボーヴォワールが

描く愛と老い

「わたし、もううんざりなの!
あなたはわたしがどんなに
退屈しているかわからないのよ!」

「アンドレの傍にいながら、
わたしは
独りぼっちなのだ」



「ぼくのこと、

しなびた果物みたいで、
少しがっかりさせてないか?」

「ぼくは、きみさえいれば、
他のものはなくてもかまわない」

ボーヴォワール著・井上たか子訳 『モスクワの誤解』 人文書院